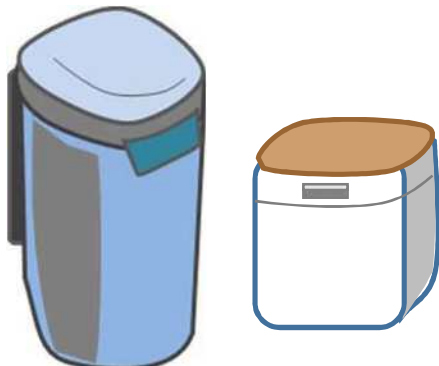
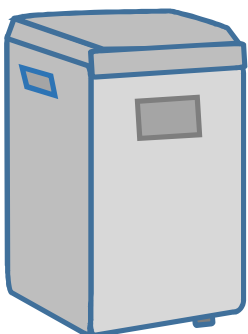
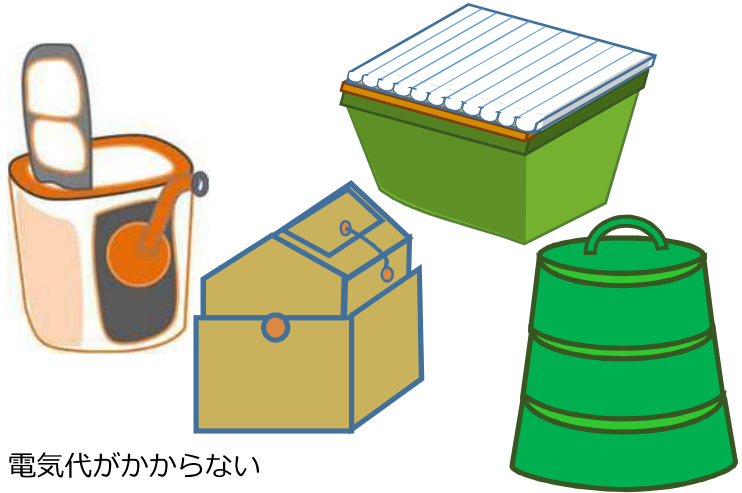


種類	電動生ごみ処理機		生ごみたい肥化容器
	加熱乾燥型	微生物分解型	
特徴	<p>加熱乾燥し減量化する</p>  <p>形状がコンパクト 脱臭装置の付いた機種では臭いが少ない 電気代がかかる 機種によっては作動音が気になる場合がある</p>	<p>微生物の働きなどにより生ごみを発酵・分解し減量化する</p>  <p>乾燥型と比べて電気代がかからない 一定期間の熟成により生成物をたい肥として利用できる たい肥化資材の追加投入に費用（ランニングコスト）がかかる</p>	<p>微生物の働きなどにより生ごみを発酵・分解し減量化する</p>  <p>電気代がかからない 一定期間の熟成により生成物をたい肥として利用できる 手作業によるかくはん（かき回し）など、一定の手間を要する 設置場所などの条件により工夫が必要となる</p>
価格	2～10万円程度	4～10万円程度	2千円～1万円程度
減容率	約6分の1	約10分の1	約10分の1
かかる時間	1時間30分～9時間程度	1日程度	<p>密閉バケツ型 1～2週間程度 プラスチック容器、段ボール型 1～3ヶ月程度</p>